



地域講座

「嚥下機能

について」を開催。

去る 10 月 13 日、伏見区の訪問看護事業所くメディケアリハビリ訪問看護ステーション京都>さんとの共催で『地域講座：嚥下機能について』を開きました。参加者数は約 60 名と、会場を埋め尽くすほどの盛況ぶり！地域講座という親しみやすい形式だったこともあり、専門職の方だけでなく、地域の中で安心して暮らしたい、おいしく食べたい・食べてもらいたい、という熱い思いを持って生活されている方やそのご家族の方などに大勢ご参加頂きました。

「摂食」や「嚥下」。最近少しは聞き慣れてきましたが、何となく難しい言葉です。それでも今回この『嚥下機能について』をテーマにした講座に多くの方が来て下さり、「安全に・安心して・おいしく・楽しく・食べる」ことへの関心の高まりや、それが豊かな生活に繋がると考えることが身近になってきたという深まりを感じました（講座では、小麦粉を使わないことで簡単にごっくんできる“たこ焼き”を実際に作ってみました）。

摂食や嚥下の課題を抱えている方が多く利用されている施設の職員として、私たち自身の知識や技術の習得だけでなく、実生活の中で実践しやすい、調理や保存の方法、機能性食品などの上手な利用方法を発信していくことの大切さと、責任の重さを改めて感じました。住み慣れた地域で安心して暮らすための基盤とも言える「食べる」ということに、今後も深く関わっていきたいと思います。（山内）

★アイドルの条件★



今回は「アイドル」について語ることにする。俺は、“かわいい”より“キレイ系”の方が好きやな。アイドルにふさわしい条件が何かって？…それは第一に、「顔がキレイなこと」。それと第二はもちろん、「顔」。さらに第三を挙げるならやっぱり、「顔」やな。要するに、顔さえ良ければ性格なんて悪くてもいい。俺はそれで全然構わない。

ところで、前（※編集部註：38 号の寄稿記事）に話が出た「北川景子」、あれから結婚したらしいな。相手の男（DAIGO）は幸せやろうな。だって嫁さんキレイやし…理由はただそれだけ。DAIGO とやらも、きっと顔やな。だって俺は顔で選ぶから。（小谷 達矢）

セイジ・カネガの歌詞世界

ハブズ ドライブ ユー アーソー
ラッキー ラッキー ねいちゃーどリーむ
ふれすこ ふれすこ モンダミン
ラッキー ラッキー ハブズ ドライブ
Oh Oh どんと ユー
けきアキ スパダー
ぞんなもんだよ ハブズ ドライブ
Oh Oh Oh 君が持っているから



まどちゃん師範の!! なぞなぞ道場

Q. 家の中で「いつもニオイを気にしているもの」ってなーに？

（難易度：★★）

編集後記

先日、マンガ「こち亀」が連載 40 周年＆200 巻で堂々完結したことが話題となりましたが…「たんばばしだより」はまだまだ完結しませんよー！ 目標は 40 周年？ いえいえ、200 号を目指して頑張ります★（山下）

（>02ノ2）首巻、V

TANBABASHI-DAYORI

京都市伏見障害者デイサービスセンター

発行責任者：時任 百子

〒612-8318 京都市伏見区紙子屋町 544

TEL：075-603-1290 FAX：075-603-1292

http：//www.normanet.ne.jp/~fusimids/

Email：f-days@kyofc.or.jp

BRAVO!

40

VOL.

2016 NOVEMBER



年に一度の大イベント、伏見総合福祉センターの「ふれあいまつり」ですが、今年度は例年よりも早く、夏真っ盛りの 8 月に開催されました。私たち伏見障害者デイサービスセンターでは、毎年この「ふれあいまつり」のステージでダンスと合唱を発表するのが恒例となっていて、今年は厳しい暑さの中でのステージ発表となりました。

今回はなかなか曲目が決まらずに苦労したのですが、最終的にダンスの曲は“ピクニック（かりゆし 58）”と“オンリーワンダー（フレデリック）”、そして合唱は“夏色（ゆず）”に決まりました。それからは利用者さま・職員一丸となって、毎日の猛特訓。ダンスの振りつけも PV などを参考にしながら自分たちで考え、ふれあいまつりの大舞台ではこれまでの全てを出し切ろう！…と意気込んで練習に打ち込みました。

そして迎えた当日、いつもながら本番にはめっぽう強い伏見ディー同！ 猛暑にも負けず、ダンス・合唱とも最高のパフォーマンスを披露することができました。どの利用者さまも生き生きと輝かれ、発表を終えた時は達成感に満ちあふれた表情でした。

来年もまた、今回以上のステージを披露できるように頑張りたいと思います。（美濃）

新任 サービス管理責任者として――

平成 28 年 6 月から、伏見デイの「サービス管理責任者」となりました、大谷です。私が伏見デイに来て 7 年が過ぎましたが、その間にご利用者も増え、新たな法律ができ、制度が変わり…とその状況に応じた支援をたくさん学んできました。

2 年前から「サービス管理責任者研修」を受講しはじめ、日々の支援には欠かせないご利用者の要望やご家族の思いを踏まえた“個別支援計画書”を作成するにあたって、サービス管理責任者としての視点や大切にすべきことを学びました。ちょうど同じ頃、伏見デイが「特定相談支援事業」を行なうようになったことで、相談支援事業者との連携もますます増えてきています。ご利用者、ご家族の思いや心配事に寄り添い、ご利用者の状況や生活実態を知り、

具体的なニーズの把握に繋げ、より家庭と密着したサービスや支援に繋がっていきたいと感じています。

“個別支援計画書”の作成は、各ご利用者の担当職員が中心となって行なってはいますが、日常での実施にあたり、様々な得意分野を持つ職員と連携して日々の支援に取り組んでいます。「是非やってみたい！」と楽しみをもち、利用していただけるような伏見デイを作り上げていけるよう、

職員一同連携し、取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

（大谷 絵美）



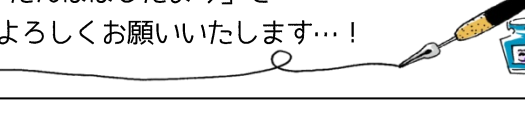
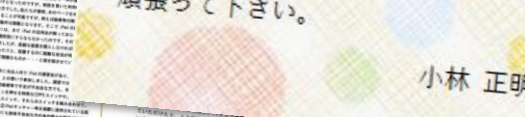
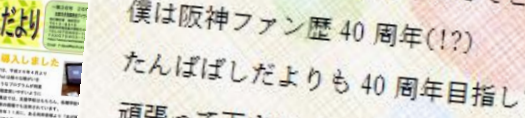
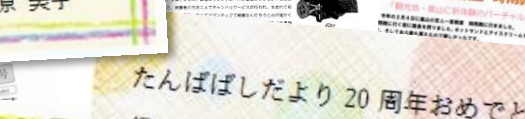
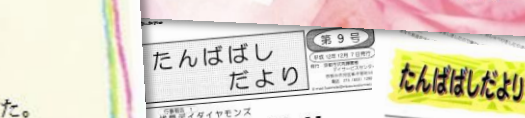
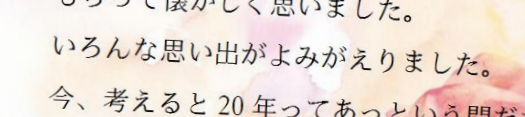
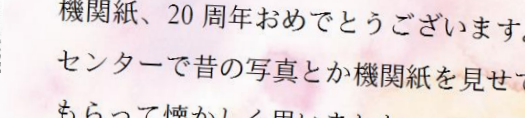
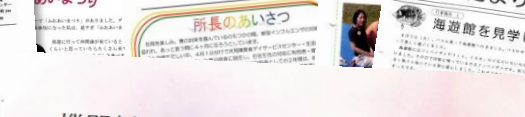
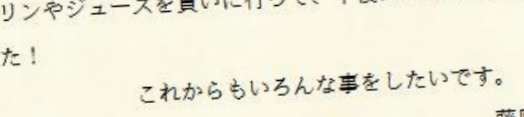
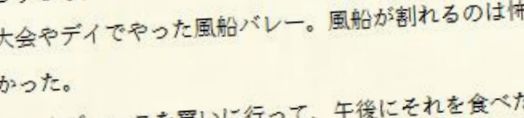
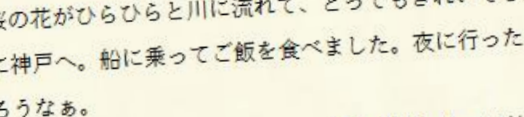
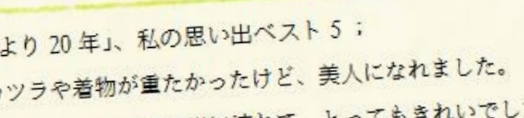
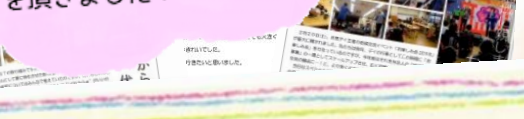
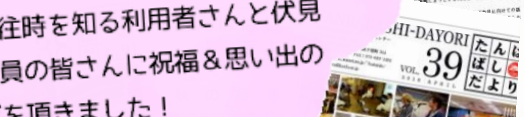
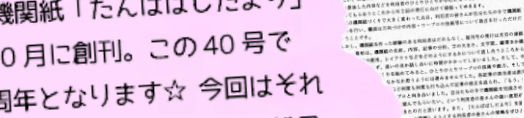
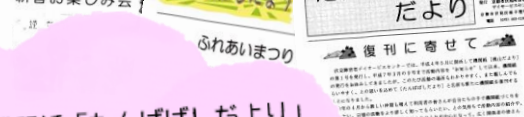
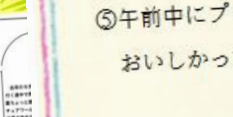
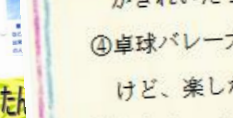
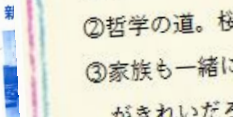
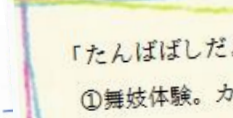
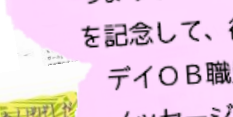
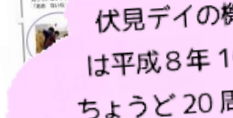
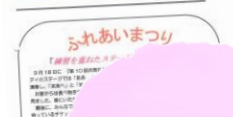
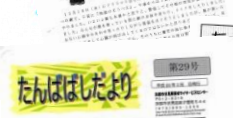


あ かげ さ ま で 40 号

「たんばばしだより」が

20 周年を迎えました!!

たんばばしだより



伏見デイの機関紙「たんばばしだより」は平成8年10月に創刊。この40号でちょうど20周年となります☆今回はそれを記念して、往時を知る利用者さんと伏見デイOB職員の皆さんに祝福&思い出のメッセージを頂きました!

「たんばばしだより20年」、私の思い出ベスト5:

- ①無妓体験。カツラや着物が重たかったけど、美人になりました。
- ②哲学の道。桜の花がひらひらと川に流れて、とってもきれいでした。
- ③家族と一緒に神戸へ。船に乗ってご飯を食べました。夜に行ったら夜景がきれいだろうなあ。
- ④卓球バレー大会やデイでやった風船バレー。風船が割れるのは怖かったけど、楽しかった。
- ⑤午前中にプリンやジュースを買いに行き、午後にそれを食べたこと。おいしかった!

これからもいろんな事をしたいです。

藤原 美子

機関紙、20周年おめでとうございます。センターで昔の写真とか機関紙を見せてもらって懐かしく思いました。いろんな思い出がよみがえりました。今、考えると20年ってあっという間だなと思いました。

千坊 由紀子

たんばばしだより20周年おめでとう。僕は阪神ファン歴40周年(!?)たんばばしだよりも40周年目指して頑張ってください。

小林 正明

これからも「たんばばしだより」を
よろしく願いいたします…!

— FUSHIMI-DAY LEGENDS —

伏見デイOB職員の皆さんからの

お祝いメッセージ

※法人在職
年数順に



★「たんばばしだより」創刊20周年、おめでとうございます。もう20年も経ったんですね。創刊当時のことが思い出されて懐かしいです。毎号楽しく読ませてもらっています。これからも活動の様子やみんなの思いをたくさん届けて下さい。明るく元気な伏見デイ、これからも応援しています。

(山科センター長 松原 直之)

★「たんばばしだより」が始まって何周年かと思いきや20年、ちょうど僕も法人に就職してから20年なのですが、僕が就職してすぐに創刊だったんですね。今でも懐かしく毎号記事を拝読していますよ。今が一番古い読者の一人です。そう言えば最初はワープロで記事を入力していましたね。一文字一文字頑張ってボタン入力していたみんなの姿が思い出されます。当初は「CANCAN」という名前が候補に挙がっていました。紆余曲折を経て「たんばばしだより」に落ち着いたのですが、成人式を迎えた「たんばばしだより」が、みんなの“CAN”をたくさん乗せて、大きく羽ばたいていくことを願っています。

(生活サポートセンターほっと 田中 豪)

★「たんばばしだより」創刊20周年&40号おめでとうございます。私が伏見デイにいた頃は何号ぐらいだったのだろうと思い、伏見デイのHPからバックナンバーを見てみましたが、あまりの古さにバックナンバーすら見当たらず(笑)! 当時のことを思い出し、インタビューやボエムのコーナーなど、懐かしいおもひでが蘇ってきました! これからもみんなの元気な様子が見られることを楽しみにしています。100号なんて言いません! 創刊50号を目指して頑張ってください!

(山科障害者デイサービスセンター 小島 幸三)

★「たんばばしだより」20周年、おめでとうございます。私が担当していたのも、すでに数年前。利用者さんと一緒にワイワイ言いながら編集作業をしていたのも楽しい思い出となっています。その数年でそれぞれの担当の方がいろいろ工夫しながら、「たんばばしだより」の紙面も充実したものとなっているのを頼もしく見させて頂いています。これからも、伏見デイのにぎやかな様子を「たんばばしだより」が発信し続けてくれることを期待しています。

(山科身体障害者福祉会館 栗崎 宏昭)

NEW FACE!!

28年4月より、藤田 早紀(ふじた さき)さんが伏見デイの一員に加わりました☆
明るくて元気いっぱい、笑顔の素敵な期待の新星です!



早紀は食べることが好き。
外出も好き、音や光が大好き!
にぎやかな所も好きで、いつもマイペースですが、家では3人きょうだいのお姉ちゃんです!
どうぞよろしくお願いします。

※お母様からコメント
をいただきました

コジコレ No.2 きょうと障害者文化芸術推進機構
Co-jin Collection

前号でご紹介した「コジコレ」に続き、今年の8月~9月に開催された企画展「コジコレ No.2」に伏見デイの小間幸子さん・藤原美子さんの作品が選ばれ、上京区のギャラリー“artspace co-jin”へ鑑賞に行きました。本格的な額装と展示にお二人も大感激…! 創作意欲がますます掻き立てられている様子でした。



相談支援事業



相談支援事業の相談員を始めて、2年以上が経ちました。事業開始当初は現行サービスの継続利用がほとんどでしたが、最近ではショートステイの利用を希望される方も多く、ご利用に至る理由は様々です。同居する家族の高齢化により、ご家族以外の支援を受けて生活する経験を目的とされる方、将来の生活基盤(入所等)を視野に入れた利用を目的とされる方が多くなりました。相談員としては、住み慣れた地域での生活を続けるための家族支援とともに、利用されるご本人とご家族が安心してその方の望む生活を実現できるよう、利用者さんと事業所のベスト・マッチングを目指して支援しています。(茗荷)